

「石はなにからできている？」

川崎市立菅小学校五年

日比野

瑞希

地球の石はいろいろとりどり。石をよく見るとつぶつぶが見える石と見えない石がある。例えば、キラキラしたつぶつぶが見える白っぽい石。これはマグマからできている。キラキラした灰色っぽい石。その中に赤く光っているのはガーネットという宝石だ。これもマグマからできている。

生き物から生まれた石もある。つぶつぶの見えない白っぽい石。これは石灰岩せっかいがんといって、サンゴが死んでそのからがつぶつぶされてかたまってきた石だ。酸性のトイレ用洗剤をかける時にシュワシュワとあわがでる不思議な石だ。他にも放散虫という生き物のからがもとになった石、泥がかたまってきた石などいろいろとりどり。地球にはまだまだたくさん石がある。

私がこの本を読んでおどろいたのは、最初の石が何からできているかのところだ。私は泥や砂でできているかと思っただけ、マグマからできていると知っておどろいた。私は知らないというちにマグマをさわっていたんだと不思議な感じがした。マグマからできているなら、富士山のある山梨県や静岡県は石が多いのかと思っただけ。

もう一つおどろいた事は生き物から生まれた石のところだ。家にサンゴがあるがすぐくかたい。これをつぶして石にするのはすごい圧力だと思っただけ。あと、洗剤をかける時とあわがでることだ。これは石じゃないとはんたうしないのか、サンゴでもできるのかやってみたい。石灰岩に石灰という字がついていて、これが体育などで使う白線と同じだから関係があるか調べたい。

このように、この本はただの石だと思っただけの物が宝石になる本だ。みなさんも、宝石をさがしてみている？